

韓国国会前で

サハリン州ユジノサハリンスク市〇〇〇に居住するソ・ジンギルより
アピール文

私は、シャツチョルスク市出身で、1944年10月28日生まれのソ・ジンギルです。

私の父ソ・ジャグンは、1942年に日本人によってシャツチョルスク市炭鉱で働かせるために強制的に連れて来られ、1944年まで働き、さらにまた九州にある炭鉱に連れて行かれました（二重徴用）。

1945年に戦争が終わった後、消息がなかったのですが、2005年になってようやく3回にわたり日本を訪問し、父が働いた炭鉱と、父が1944年9月20日～1945年9月25日に保険をもらった会社も見つけました。

母イ・ジョムスは、2人の子どもと共に1943年に父のあとを追ってサハリンに来て、1974年に亡くなりました。

私のような、両親がいない大人がどうやって生きてきたのか、よくわかっています。言葉で表現することができません。1944年に3180名ほどがサハリンから日本に二重徴用されました。そして、サハリン韓人文化センターの前に、その方たちのためのサハリン韓人二重徴用鉱夫被害者の追悼碑を建てました。

まずサハリン韓人の前で、国際的に法的な責任を日本、韓国、米国、ロシアが負わなければなりません。このために、新聞を通じて特別法案を知らしめ、日本外務省と韓国外交通商部に、サハリンに連れて行かれた人全員の名簿と二重徴用をされた方たちの名簿を明らかにしろと言わなければなりません。

サハリン韓人特別法案を早いうちに通過させることを切にお願いします。

ソ・ジンギル

2011.01.29